

意味を考えた段彩デザイン — 人口増減分布図

★統計分布図は、少々みにくくても「分かれば」（誤解なく読み取れば）作成の目的は達成されたといえます。他方、Mandara ではせつかくいろんなデザインが手軽に作れるのだから、**分布事象の意味**にあわせて**合理的で見やすい**体裁になるように、**センス**を働かせてデザインする**才覚**を身につけるのがより良いといえましょう。

◇課題 8 a

M-ttk-配布用フォルダから「**都道府県人口 9010**」を取得し、下掲の **2つの見本** に示した**分布図** を作成しなさい。

- ・提出：Word に上下並びで貼付け。ファイル名：「番号-氏名 k08」

<要領解説 1 >

①必要な計算をし、表頭部分を Mandara 用に修正して、Mandara に読み込む

②地図ファイルに「**japan3**」を指定 ⇒ 「**データ項目**」で「**人口増減率**」を指定 ⇒ 「**階級区分モード**」で【**ペイント**】を指定 ⇒ 「**ペイントボード**」（右図）が開く

③この設定で良ければ、【**描画開始**】をクリックすれば分布図を得ることができる。

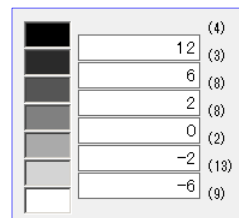
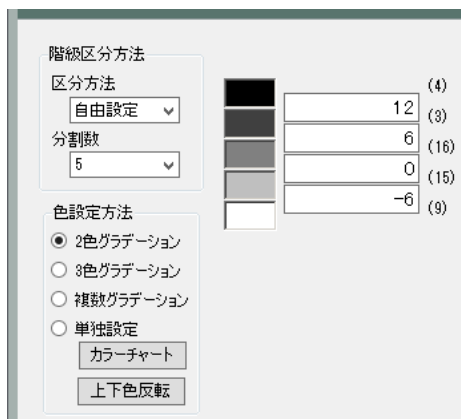
④しかし、もう少し詳細に区分したほうが良いように思われるので、分割数を7にし、「2」と「-2」の区分値を追加する（右下図）。

⑤【**描画開始**】をクリックして分布図を得る。

- ・この図も「増減パターン」の概要は判読できるので、図としての目的は達成している。

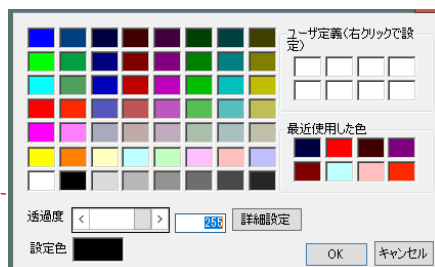
- ・しかしながら「**増加**」と「**減少**」は**意味が逆**でもあるので、その**対照性**がひと目で分かるように描くのが、より**洗練**された表現といえる。

- ・そこで、次頁の「見本 1」のような図を作ってみよう。



<手順>

- ①ペイントボード「色設定方法」を【単独設定】。
- ②段彩ボックスの最上段を click して色指定ボード（右図）を開く。既定マスの色以外にも、【詳細設定】⇒【色の作成】（右下図）で無限の色が指定できる。

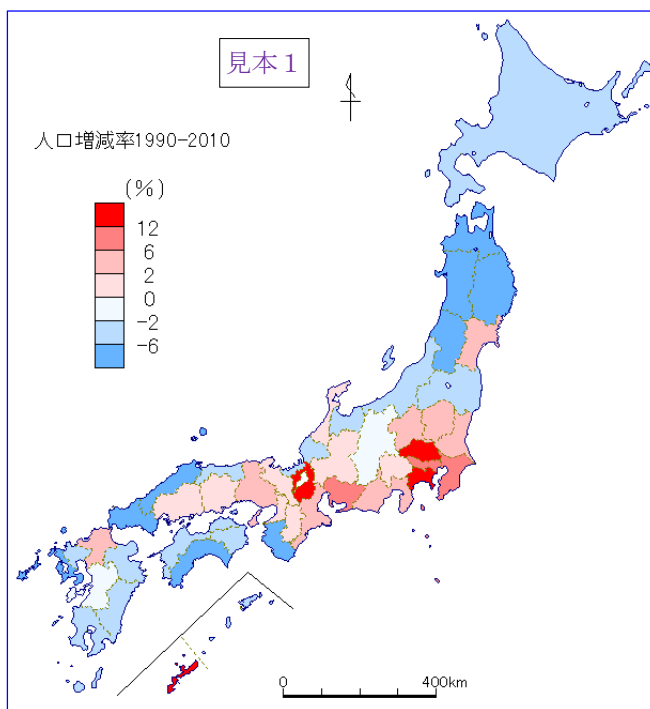


※色の作成ボードでの指定方法

- ・まず既定ボックスの中の濃色（右例では青）を click した後、右端の▲をスライドさせて適当な濃淡色を指定する。
- ・この際、【明るさ】欄の数値をメモっておくと、次回も同じ色を正確に指定できる。

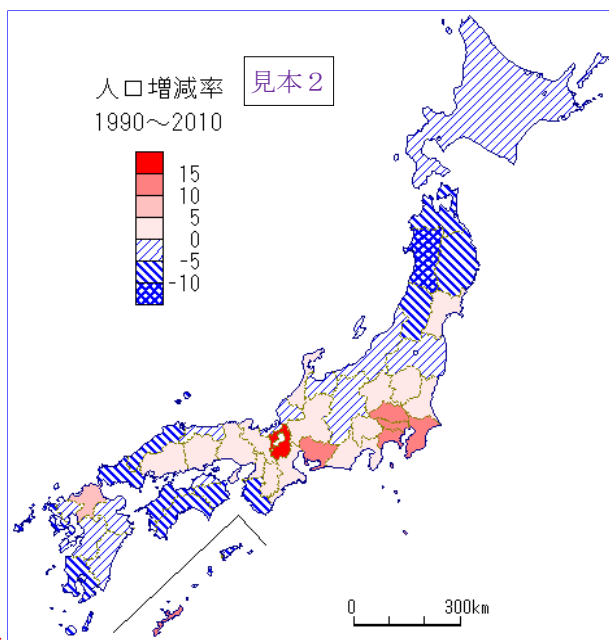


- ・ここでは、下図のように指定してみよう。



<要領解説 2>

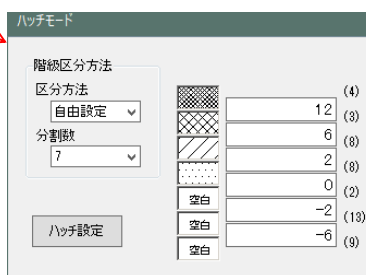
- ・次に、図をモノクロで作成しなければならない場合を考える。
- ・この場合は、赤と青の違いはモノクロになって判別不能になる。
- ・そのため、右の**見本 2**のように「ハッチ」を組み合わせるとよい。



<手順 2>

①階級区分の【表示】欄で【ハッチ】を指定。すると「ハッチモード」に。

②最上段の段彩を click すると、
ハッチ設定ボードが開く ↓



③ここで「増加」（赤の段彩）は【ベタ塗り】を選んで、【色】を click すると、前記のカラー指定の手順になる。

④「減少」（青のハッチ）は【模様】欄の「点」、「横線」、「縦線」、「斜線」、「クロス」等を選び、これに「間隔」、「線種設定」を組み合わせると、任意のパターンを作ることができる。

- ・試行錯誤でやってみよ。★余力があれば ↓

◇課題 8b

国勢調査のサイトから 2015 年の人口を取得して「都道府県人口 9010」ファイルに付け加え、2010～15 年の増減分布図を作りなさい。

8a の図の下に追加して提出